

よろこび

聖徒のための情報誌

今月号の内容

龍口法難(1面)
靈断師養成講習会
讃岐大玄・理事会議長が女性を救出(2面)
日蓮大聖人の歩まれた道
よろこびちゃんの質問箱
法華経のお話(3面)
よろこび法話(4面)

平成25年(2013年)9月1日(日)
9月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗靈断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗靈断師会

会長 新聞 智雄
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 105円
毎月1回1日発行

日蓮宗靈断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp



「龍口法難」につきましては、聖徒の皆様はすでに御存じのことと思いますが、本年もその聖日を迎えるに当たり、今一度日蓮大聖人様の法華経信仰について考えてみましょう。

大聖人様は文永八年(一一七二)九月十二日、侍所所司・平頼綱の指揮のもと、鎌倉松葉ヶ谷の御草庵で逮捕され、同日深夜、片瀬龍口で斬首されようとしたが、それが、四大法難の一つといわれる「龍口法難」です。

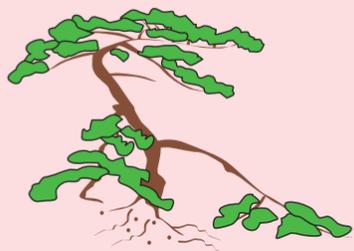
文永五年正月、蒙古国より服従を求め、国書が届き、応じなければ武力を用いてでも服属させると警告した他国侵逼の予言が的中したのです。大聖人様は、これを契



日蓮宗靈断師会 副会長
富山県富山市利生寺聖徒団 団長
末吉 観道

龍口法難

たつのくちほうなん



同年八月、蒙古国から三度目の使者がやってきて、蒙古襲来の緊迫した情勢はいっそう深まってきました。律宗の僧・忍性らの讒言と、蒙古襲来の危機感も加わって、九月十二日、遂に幕府は大聖人様とお弟子・信徒の方々に對し、徹底的な弾圧を加えてきたのです。十二日午後四時頃、大聖人様は侍所所司・平頼綱等によって逮捕されましたが、この時、大聖人様は頼綱に「立正安国論」による諫曉に次ぐ、第二の国家諫曉をされました。

逮捕の時、大聖人様は懐中の法華経を奪われて、「諸の無知の人の悪口罵詈雑言、及び刀杖を加うる者あらんも、我等は皆まことに忍ぶべし」という「勸持品」の経文を含む第五の巻でさんざんに打たれましたが、

機に幕府の反省を促し、諸宗に對しても批判を激しくしていきました。

文永八年六月、大聖人様と雨乞いの祈禱によって仏法の正邪を決する争いに大敗した律宗の僧・忍性は、同年七月、浄土宗の僧・良忠らと計って、大聖人様の法華経信仰を、他を一切否定する専修的排他的な危険な思想であり、門弟に阿弥陀仏や観音菩薩などの仏像を焼き捨てさせ、更に凶徒を集め、武器を蓄えている危険な存在であると幕府に種々の讒言をし、訴えました。

「ただ法華経を弘通する計りの大科なり(神国王御書)」と、その時の喜びを語っておられます。

「千が九百九十九人は墮ちて候(新尼御前御返事)」というほど、この弾圧は大規模かつ徹底的なものでした。しかし、大聖人様はこの弾圧を覚悟の上のこととして受けとめ、今罪科に処せられてこそ、過去の謗法(法華経をそしり疎かにする)の罪をも消すことができ、この謗法の重業を消すことに比べれば、この世の迫害・弾圧は極めて軽いものであると、お弟子や信徒の方々にもご教示されました。

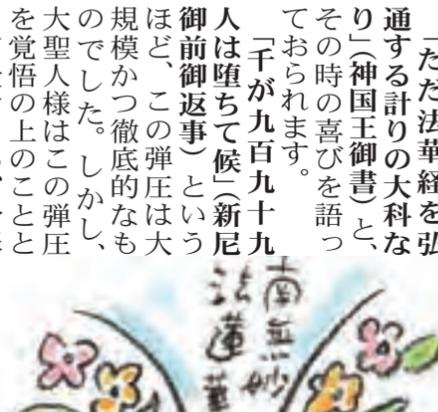
お弟子や信徒の方々が「大聖人様の御頭や如何」と気づかう中、龍口の刑場に引き出されて、荒筵の上の座に座せられてなお悠然と御題目を唱え続けられる大聖人様。やがて太刀取役人が幕府に伝わる名刀・蛇胸丸を、いざ振り下ろそうとしたその瞬間、

「江の島のかたより月の如くひかりたる物、まりのようにて辰巳の方より戌亥の方へひかりわたる。十二日の夜のあけぐれ、人の面もみへざりしが、物のひかり月夜のようにて人々の面もみなみゆ。太刀取目くらみたおれ臥し、兵共おど怖れ、興奮めて一町計りはせのき、或いは馬よりをりてかしまり、或いは馬の上にてうずくまれるもあり。」

(種種御振舞御書)

と自ら語られておられる「光り物」出現の大奇跡によって斬首を免れることができたのでした。この時、奇跡を起こして守護して下さったのが同生天・同名天の俱生神様です。大聖人様は俱生神様の靈驗奇跡を御自身で体験され、決して疑ってはいけなないと、お弟子や信徒の方々に固く戒めておられます。

「人には必ず二の天影の如くそいて候。所謂一をば同生天と云う、二をば同名天と申す、左右の



「去年九月十二日の夜中には虎口を脱れたるか。必ず心の固きによりて神の守り即ち強し等とは是なり。汝等努疑うこと勿れ。決定して疑い有るべからざる者なり。」

(真言諸宗違目)

鎌倉幕府の権力と武力を以てしても大聖人様の御頭を切ることが出来なかつた「龍口法難」の陰には、このような俱生神様の御加護があつたのです。七百四十二年、法華経を色読された大聖人様だからこそ、このような奇跡の御加護を受けることが出来たのだ、と思いがちですが、先に挙げた御妙判は、現代の私達聖徒団信仰に精進する者におしやうていられるお言葉と受け止めなければならぬと考えます。聖徒の皆様には「俱生神月守」を着帯し、信心を強く持つて、「南無妙法蓮華経の道」を持ち、行い、護り、弘め奉る「四誓の願行」に精進しておられることと存じます

が、「龍口法難」の聖日には、改めて自分自身の信仰を見直して頂ければと思います。そして、皆様の周囲の人で、未だ「俱生神様」のこと、「俱生神月守」のこと、「九識靈断法」のことを知らない人々に救いの手を差し伸べてさしあげて頂きたいと存じます。その功德は甚大で、やがて皆様自身に必ず回向(回し)向けられることと存じます。

津軽宇田山 閻法寺

9月22日 午前11時より
「鬼子母神大祭」

毎月 第2土曜日
午後3時より「唱題修行」

〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712

住職 工藤 堯幸
副住職 工藤 堯慎・修徒 工藤 堯顯

妙正寺聖徒団 我妻ひろき

旭川FMリベールFMラジオ 83.7MHz
「マダムケロのちよと長話」
9月10日、25日午前11時より
インターネットでも聞くことが
できます
サイマルラジオから
旭川FMリベールをクリック

9月22日(日)午前11時
秋季彼岸会塔婆供養。龍口法難会。

毎月1日午前10時 盛運祈願会

妙正寺聖徒団 団長 関 龍雄
〒071-1423
北海道川上郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714 FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび

美濃乃國
常唱寺 聖徒団

〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

山佐野 妙顕寺

天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中!

●郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙顕寺建設委員会

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myoukenji.jp

日蓮宗靈断師会会長
感通寺聖徒団 団長
新聞 智雄

〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

スクープ

日蓮宗霊断師会 理事会議長 愛媛県法華寺 讃岐大玄上人が、お城の堀に転落し溺れていた女性を見事に救助し、消防署より人命救助による感謝状を贈られ、愛媛新聞に掲載されました。



讃岐大玄上人のお話

お堀で女性が溺れていたの、石垣沿いの犬走りに降り、靴・靴下・ズボン・シャツを脱ぎ、下帯とステテコで堀に飛び込み、無事救出することが出来ました。

これも俱生神月守のおかげと感謝しております。



女性救出の現場
今治城のお堀と讃岐上人

平成二十五年度 「霊断師養成講習会」を開催

六月十一日から十九日までの九日間山梨県身延山智寂坊、並びに林蔵坊を会場に、「霊断師養成講習会」が開催され、七名の受講者があった。

各受講者は、十一日お昼に集合。品田祥皓教監より、本講習会にあつたての説明を受け、長期に亘る講習会が始まった。

十二日早朝、教監部・受講者全員で総本山身延山久遠寺の朝勤に参拝。会期中、受講生全員が体調を崩すことなく、無事に八泊九日の講習を終えることが出来るよう、日蓮大聖人様にご祈念。

同日おこなわれた「開講式」では、新間智雄会長より「本講習会で、霊断師として大切な新日蓮教学、九識霊断法の二つをしつかり学んで、立派な霊断師、人々から認められるありがたい僧侶になつて頂きたい」との御訓辞を頂戴し、この後三日間及び新日蓮教学の講義に臨んだ。教学講義は栃木県妙福寺聖徒団団長 野澤壯監講師の新日蓮教学原理から始まり、総

合研究所教学部長 小泉輝泰講師の一大秘法、三大秘法、整識観による本門の本尊、本門の戒壇等を受講。

受講者は初め、教学の素晴らしくも難解な教えに戸惑っていたが、当会选择のすぐりの講師陣による丁寧かつ熱のこもった講義を受け、理解と自信を深めた。

三日間の新日蓮教学を終えた受講者は、九識霊断法の実習にあたり、末吉観道副会長より九識霊断法の「相伝」を受け霊断法具等を授与され、この日より最終日に至るまで、総合研究所副所長 三浦恵伸講師、総合研究所霊断法研究部部長 石黒

泰良講師、総合研究所霊断法研究部主任 新間信應講師等による懇切丁寧な九識霊断法の実習講義を受講し、御題目弘法の極め手たる九識霊断法の奥義を習得した。

最終日、「閉講式」の席上、新間智雄会長より「今後は霊断師として祖道を全うすべく、全国各地において霊断布教に励んで頂きたい、頑張つて下さい」との激励のご挨拶を頂いた受講者は、七名全員が晴れて二級霊断師として任命を受け、九識霊断法を以つて大衆救済に尽力する事を誓ひ散会、それぞれの法城へと勇躍帰還した。

霊断師養成講習会受講者 各聖

- 加藤 曉 宏 (青森県 要心寺内)
 - 吉良 貴 徳 (宮崎県 本光寺内)
 - 白水 裕 子 (宮崎県 龍雲寺内)
 - 海野 資 子 (宮崎県 龍雲寺内)
 - 下土井 啓 晋 (大阪府 龍泉寺内)
 - 浅野 修 章 (福井県 妙光寺内)
 - 宮武 孝 徳 (京都府 妙音寺内)
- 敬称略



開講式・新間智雄会長挨拶



講義中の受講生



夕勤の様子

俱生神月守・ 霊断法のご案内

◆人にはみなそれぞれ「人生」という道がある。しかしその道の先はよくは見えず、地図もない。この先には大きな河が横たわっているかも知れず、大岩が障害物となつているかもしれない。人は誰もそれに気づかず「今」のみを飄々と歩く。そして河に阻まれ打ちひしがれ、大岩の前に愕然とする。◆私たちが日蓮宗聖徒団には九識霊断法という秘法があります。◆これは俗に言う占いの類とは違い、日蓮大聖人のみ教えから生まれた有り難い秘法です。◆カーナビのように河や大岩など人生の中で進むべき道を阻む障害物を見通し、その迂回路を指し示し目的地へと導いてくださいます。◆人事万般なんでもご相談ください。◆また聖徒団には俱生神月守という不可思議な御守があり、河の前には橋となり、大岩の前には梯子となり、困難を乗り越える力となつて護つて下さいます。◆難病を癒す不思議な護符もあります。◆充実した人生を歩むため、最寄りの聖徒団のある寺院、教会、結社へお出かけください。

第二十七回 日蓮大聖人の歩まれた道 鎌倉での修学(その四)



総合研究所
教学研究部長
小泉 輝泰

「叡山の三千人かまくらにせめられ、一同にしたがいはてぬ。(中略)今はかまくらの世さかんなるゆへに東寺、天台、蘭城七寺の真言師等と、並びに自立をわすれたる法華宗の謗法の人々、関東にをちくだりて、頭をかたぶけ、ひぎをかがめ、やうやう(様々)に武士の心をとりて、諸寺諸山の別当となり」
(撰時鈔)

時は歴仁元(一二三三)年、いよいよ年の瀬も押し迫った鎌倉の町に、清澄よりの長旅を終えた若き学僧の姿がありました。これより足かけ五年に及ぶ蓮長の鎌倉修学が始まるうとしていたのです。

それに先立つこと数年前、嘉禎元(一二三五)年には京都の石清水八幡宮と奈良の興福寺が争い、これに比叡山延暦寺も巻き込んだ大規模な寺社争いが起こりました。これを見かねた幕府は、六波羅を差し向けると強権を発してこの争いを鎮圧してしまいました。
寺社の僧兵による強訴は、長きにわたる時の施政者たちの悩みの種でした。豪腕政治で知られたかの白河上皇でさえ「加茂川の水、賽の目、そして延暦寺の僧兵」だけは「意のままにならざるもの」と嘆いていましたが、幕府の圧倒的な武力の前に、ついに寺社勢力も鎌倉にひれ伏すしなくなりました。

そして蓮長が鎌倉を訪れた歴仁元年には、二つの歴史的な出来事が都を賑わしていました。一つは武家によって制定された初めての法典である「御成敗式目」の発布、そして今一つは今や鎌倉のシンボルとも言える「長谷の大佛」の建立です。これらの出来事は、政治、文化共に、京の都に代わって鎌倉こそが日本の中心

となり、あらゆる富や権力が集中していくことを象徴していたのです。

それだけの力を誇りながら、治世は決して安定したものとは言えません。頼朝亡き後の幕府は、將軍職は次第にお飾りとなり、北条家とその他御家人による合議によって運営されていました。しかしその内情を見れば、幕府の要職は己の自分を忘れ、権力争いに明け暮れるばかりのお粗末なものでした。
時の執権であった北条泰時は、前述の通り御成敗式目を制定し、大佛建立に心を砕き、鎌倉諸山あるいは各地の名刹に命じて国家安寧の祈りを捧げるも、人心の乱れは治まることなく、それに呼応するかのよう、各地で天災、飢饉が相次いでいました。

何故に佛法をもつても国の安泰を

祈ること叶わず、人々を教え導くことが出来ぬのか・・・、蓮長は大きな疑問を抱き、いよいよ鎌倉での新たな探求を始めるのでした。



よろこびちゃんの質問箱



よろこびちゃん

今回は東京都の感通寺聖徒団からの質問です。

『靈断ってなあに?』その2

この前は、靈断の仕組みについてお知らせしただけ、今回はその活用法についてお知らせするわね。

みなさんのお寺の団長上人は、厳しい修行を積み、お釈迦さま、

日蓮大聖人さまの教えを深く学び、日蓮宗靈断師の正式な資格を相伝されているのよ。

だからこそ九識靈断法の指導によって人事百般色んな方の悩みに答えることができるの。たとえば、病氣・縁談・仕事・家運・受験など・・・。

ちなみに、私は恋人募集中だから「良縁がありますか」って今度感通寺さんにもてらいいに行こうと思つた。

みなさんも悩みがあったら一人で抱え込まずに団長上人に相談してみてね。
きっと未来をひらいていただけるわよ。
みなさんが靈断法に導かれて、幸せになりますように。



よろこびちゃんへの質問募集中!

法華経のお話 26



総合研究所主任

塩入 幹 丈

無量義経の段十三年九月

大轉輪王小轉輪王。金輪銀輪諸轉輪王。(無量義経徳行品第一)

①死せるものは、必ずまた生きる (ヒンドゥー聖典)

薬王菩薩の使命は、お釈迦様と日蓮大聖人の間を繋ぐこと。
前世紀最高の物理学者といえ、ご存知アインシュタインですが、その天才といえども、それまでの物理学者たちの活躍の歴史あつてこそ、はじめて相対性理論が発見できたもの。大聖人もご本佛お釈迦様の直弟子であつても、地上においては、式千年に亘る法華経の信仰と教学の歴史があつてこそ、はじめて日蓮佛教の宣言に至れるわけですね。

その歴史を繋ぐため、薬王菩薩は人の世にやってきました。それも一度ならず二度までも・・・。

一度目は天台大師として震旦に、そして二度目は伝教大師としてここ日本に転生されたのです。

その歴史を繋ぐため、薬王菩薩は人の世にやってきました。それも一度ならず二度までも・・・。

一度目は天台大師として震旦に、そして二度目は伝教大師としてここ日本に転生されたのです。

その歴史を繋ぐため、薬王菩薩は人の世にやってきました。それも一度ならず二度までも・・・。

一度目は天台大師として震旦に、そして二度目は伝教大師としてここ日本に転生されたのです。

その歴史を繋ぐため、薬王菩薩は人の世にやってきました。それも一度ならず二度までも・・・。

一度目は天台大師として震旦に、そして二度目は伝教大師としてここ日本に転生されたのです。

その歴史を繋ぐため、薬王菩薩は人の世にやってきました。それも一度ならず二度までも・・・。

一度目は天台大師として震旦に、そして二度目は伝教大師としてここ日本に転生されたのです。

②日出処の天子、書を没する処の天子に致す。つつがなきや(聖徳太子)

天台大師とは、西暦でいう五三八年に震旦は今の湖南省(毛沢東の出身地ですね)に誕生され、西暦五九六年にご入滅(お亡くなりになること)された、天台宗の高僧です。

その当時の震旦は、南北朝時代の終り頃から隋の時代(聖徳太子から超上から目線の国書を送られちゃった国が、この隋なんですね)、日本では古墳時代から飛鳥時代の初め頃に当たります。

続く伝教大師は、西暦の七六六年(七六七年説もあり)に、日本は今の滋賀県に誕生され、八二二年にご入滅された、日本天台宗の開祖です。時代は奈良時代から平安時代の初期となります。

古墳時代から平安の初期といえ、お釈迦様ご入滅後の正法末千年・像法末千年・末法万年の三区分別の内、どちらも像法の時代。

まさに、まさにお釈迦様と末法の日蓮大聖人との間に位置しているんですね。

③おれの名をいつてみる!! (ジャギ)

とはいももの、これは決して、震旦は隋の時代に天台大師という高僧が活躍された、平安時代に伝教大師と呼ばれた高僧が活躍された、という意味ではありません。

隋の時代に活躍された天台宗の高僧とは智顛禪師であり、平安時代に日本で天台宗を開かれた高僧とは最澄上人のこと。

その智顛禪師を後の人々は「天台大師」とお呼びし、同様に最澄上人へは、その亡き後に「伝教大師」の名が贈られたのです。

そう、今では天台大師、伝教大師、天

台大師、伝教大師・・・と当り前のように言ってますが、実はどちらも当人の生前中には全然使われなかった名前、その亡き後に作られた名前なんですね。

④骨肉の愛情で国家を捨てられない (孝明天皇)

「八重の桜」では七代目市川染五郎が孝明天皇を演じていました。又、その前の「平清盛」では松田翔太が後白河法皇を演じていました。でも本当は孝明天皇という御名も後白河法皇という御名も、その生前の名前ではありません。



江戸末期に即位された第一二一代天皇は、その本来の御名を統仁(おさひと)と言われ、崩御後に孝明天皇という御名が贈られました。同様に平安末期に即位された第七七代天皇は、その本来の名を雅仁(まさひと)。

退位され出家されてからは行真法皇と名乗られました。その法皇の崩御後に贈られた御名が後白河院であり、さらに改めて後白河天皇の御名が贈られたのは、七〇〇年後!の明治になってから・・・。

こうした、今では当たり前のように使ってる名前が、その当時とは全然違うという例、実はまだまだ沢山あるんですね・・・。

よろこび法話

一所懸命、一生懸命 毎に自らは是の念を作す



日蓮宗霊断師会 組織局 局長
愛知県名古屋市長本覚寺聖徒団

伊藤 秀温

「一生懸命に勉強する」、「子育てに一生懸命になる」。

この「一生懸命」という言葉はごく日常的に使われるものですが、今日はこの言葉の意味について考えてみたいと思います。

この言葉、辞書を開いてみると「全力を挙げて物事をするさま。命懸けで物事をするさま」と説明されています。同様の意味では「熱心」や「本気」とも言い換えられますが、テストの前に全力で勉強したり、子育てに命懸けで励んだり、私たちは誰しも何かしらの物事に対して「一生懸命(いっしょうけんめい)」になるものです。

ところで、辞書には他にもこう書かれています。「元來は中世の武士が先祖伝来の領

地を命懸けで守ること、一所懸命(いっしょうけんめい)に由来。発音の混同、意味の変化が生じて現在の形になったもの」とあります。

こう聞くと、「一生懸命? 一所懸命? どちらでも一緒でしょ?」と思われるかもしれませんが、実際、現在でもどちらも使われており、「どちらが正しい、どちらが間違い」というものではありません。

さて、ここでもう一步考えを進めてみますと、私自身はこの言葉を聞いて、「一生」と「一所」の間には少し意味の違いがあるように感じられます。「一生」は、自分の人生において、最初から最後までずっと何かに取り組み続ける様子。「一所」の場合は、ある一つの物事を力を尽くして行っているという感じがされます。「熱心に行う」という点ではどちらも同じ意味ですが、「一生」は「不断に行う」、「一所」は「尽力する」という違いを感じ取ることが出来ます。要するに、これは時間の捉え方の違いとして考えることができそうです。つまり過去から未来へと流れていく時間の中で、「一生」の場合は「ある期間を通して途切れる

ことなく行い続ける」という、行為の「永続性」が強調されるのに対して、「一所」の場合は「ある時点において、全力で取り組む」という、行為の「瞬間性」が強調されるのです。

さて、ここまで話を進めると、私は法華経のある一節を思い出します。それは如来寿量品第十六、自我偈の中にある「毎自作是念(つねにみづからこのねんをなす)」という言葉です。ここではお釈迦様が、「一切衆生すべてを仏道に導き入れ、成仏させるにはどうしたらよいか、いつも思案している」という意味合いで「毎自作是念」という言葉が出てくるのですが、以前「ここでは『毎』という漢字が使われているけれど、どうして『つねに』と読むのでしょうか」と尋ねられたことがあります。「つねに」と読むのなら、「常」という漢字でよいのではないか、という問いかけです。



積み重ねていくことによって、全体として無限の時間を私たちのために費やして下さっているのです。お釈迦様の私たち衆生に対する慈悲の心はそれほど深く寛大で、私たちにはとても思い及ばないものなのでしょう。

私たちは誰しも、与えられた自分の命を満足して、幸せに生きていきたいと願うものです。そのためには、私たちはこの命を「生きる」という行為に全力で取り組むこと、まさに「懸命に生きる」ということが求められます。

そしてそのときに忘れてならないのは、「一生懸命」に励むこと、「一所懸命」に励むこと、どちらか一方だけが大事というわけではない、ということです。今も流れている時間の中で、この一瞬一瞬に全力を注ぎ、そしてそれを一つ一つ積み重ねていくことが必要とされているのです。ひよっとしたら、このように「生きる」という行為を懸命に行っていくことこそ、実はお釈迦様が願われた成仏への道なのかもしれません。



ここで先ほどの話に戻りますと、お釈迦様は私たちを仏道に導くために、「途切れることなく常に、かつその瞬間瞬間を毎回、力を尽くして」考えて下さっているのだと言えそうです。ここで一つ注目すべきことは、行為の「永続性」と「瞬間性」のどちらか一方だけが強調されているのではない、ということなのです。

つまりお釈迦様は久遠の昔から遙か未来に亘って、無限に細分化できる時間の一瞬一瞬に力を尽くし、そしてそれを一つ一つ

本誌イラスト 小川けんいち

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

正立山 妙法寺番神聖徒団

団長 新聞 信應

毎月1日 10時
盛運祈願祭

お困り事はすぐ相談

神秘秘密の扉が開く時、
必ず利益がいただける。

〒690-2404 島根県雲南市
三刀屋町三刀屋1169
TEL 0854-45-3657
FAX 0854-45-3666

安房乃國隨一
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団

団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」

〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣荘厳具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03(3843)6951
FAX 03(3843)6973
定休日 日曜日

北海道運輸局長
認証工場(第4-1095号)です!

お車のことなら
どんなことでも!!

車買取のエース
1.0166 34-3606

(有)キクチ自動車
〒078-8346
北海道旭川市東光6条6丁目190-100
TEL/FAX 0166-34-3606